１　単元名　　「ヒカリゴケの観察」　（１時間）

２　単元のねらい（目標）

・・・

３　評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①・・・を理解する。 ・・・をしている。 ② ③	①・・・を決めている。　・・見いだしている。 ② ③	①・・・関わろうとしている。 ・・取り組んでいる。 ② ③

４　指導と評価の計画

小単元名（時数）	○学習活動　・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
海の生き物を調べ、何を食べてどのような場所にいるかなどについて話し合おう（２時間）	○海の生き物の生態や形態の特徴を調べる。 ・どんな生き物が住んでいるのかな。 ・近くの海には、どんな種類の貝や魚がとれるのかな。 ・こんな生き物を育てたいな。	①			※水産試験場の方に地域の海に住んでいる生き物の説明をしていただく。
生き物を捕まえよう（３時間）	○海に行って磯採集をし、捕まえた生き物を観察する ・海岸の生き物をどうやって捕まえようか。 ・岩場、浅瀬、干潟などに住む生き物にはどのような特徴があるかな。		①		☆海岸までの移動手段の確保 ☆漁協等関係機関への連絡 ☆安全のための軍手等の事前準備

５　本時の目標

ヒカリゴケの発行について学ぶ（１／３時間）

６　評価規準

ヒカリゴケを採取し顕微鏡で観察をしている。（知②）

7　本時の展開

配時	○学習活動　　・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
10分	北海道遺産のヒカリゴケの歴史についてスライドで確認	羅臼に住んでいてもヒカリゴケを見たことのない生徒がおおいので地元に目を向けるように促す
30分	ヒカリゴケを水槽から採取し顕微鏡でのぞく	
５分	ヒカリゴケは自ら発行しているのではなく，光を反射していることを理解させるとともに地元の北海道遺産などに目を向ける。	

8　他教科等との関連

○　国語「文学史」　武田泰淳について確認

○　社会　太平洋戦争時におきた食人事件の背景を確認

○　理科「　　」

○　知床学「ルサ川の生態観察」の代替授業　次年度以降も１年生で実施